



○令和3年度卒業式式辞(抜粋) 「向かい風をつかめ」

(前段および一部略)今日がお子様の卒業式に立ち会うのが最後になる保護者の方もいらっしゃると思います。義務教育と違って感慨もひとしおかと思ひます。そういう意味でも、今日のような形での卒業式となったこと、心よりお詫び申し上げます。

ただ今、卒業証書を授与した卒業生のみなさん、卒業おめでとうございます。みなさんは本校所定の全課程を修了しました。この3年間は、これまでの高校生が経験したことのない日々でした。苦難の連続だったと思ひますが、それを乗り越えるため、あきらめず日々努力されたことに心より敬意を表します。そして、その姿で学校や地域を盛り上げ勇気づけてくれたことに感謝します。ありがとうございました。

門出に私から言葉を贈ります。「自立した大人になるために」という言葉を今年度の合い言葉に添えました。自立した大人とは、この3年間のように、苦難の道でありであっても、自身の力で、時には仲間と助け合って、前に進むとする意欲がある人になってもらいたいという思いも込めていました。

ヨットは、風上に向かってまっすぐは無理ですがジグザクなら進めます。向かい風も推進力に変えているのです。「ウインド・カー」って知っていますか。小学校理科の「風やゴムの動き」の時間などで作った人もいるかもしれません。正面からの風、つまり向かい風を受けてまっすぐ風上に向かって走る車です。飛行機も向かい風で飛び立ちます。苦難も発想や考え方を換えれば、大きな力になるのです。

威風堂々しっかり前を向きこれからの道を歩んで下さい。「向かい風をつかめ」。これを贈る言葉とし、式辞といたします。

→ウインド・カーのイメージ図

※ウインド・カーの原理

「前方からの風で風車が回り、風車の軸の回転がゴムにより駆動輪に伝達されることで、車を前方に進めようとします。しかし、車は風を受けて後ろ向きに押されています。このため、駆動輪と床の摩擦抵抗力が風の抵抗力に勝ると、前に進みます。」

